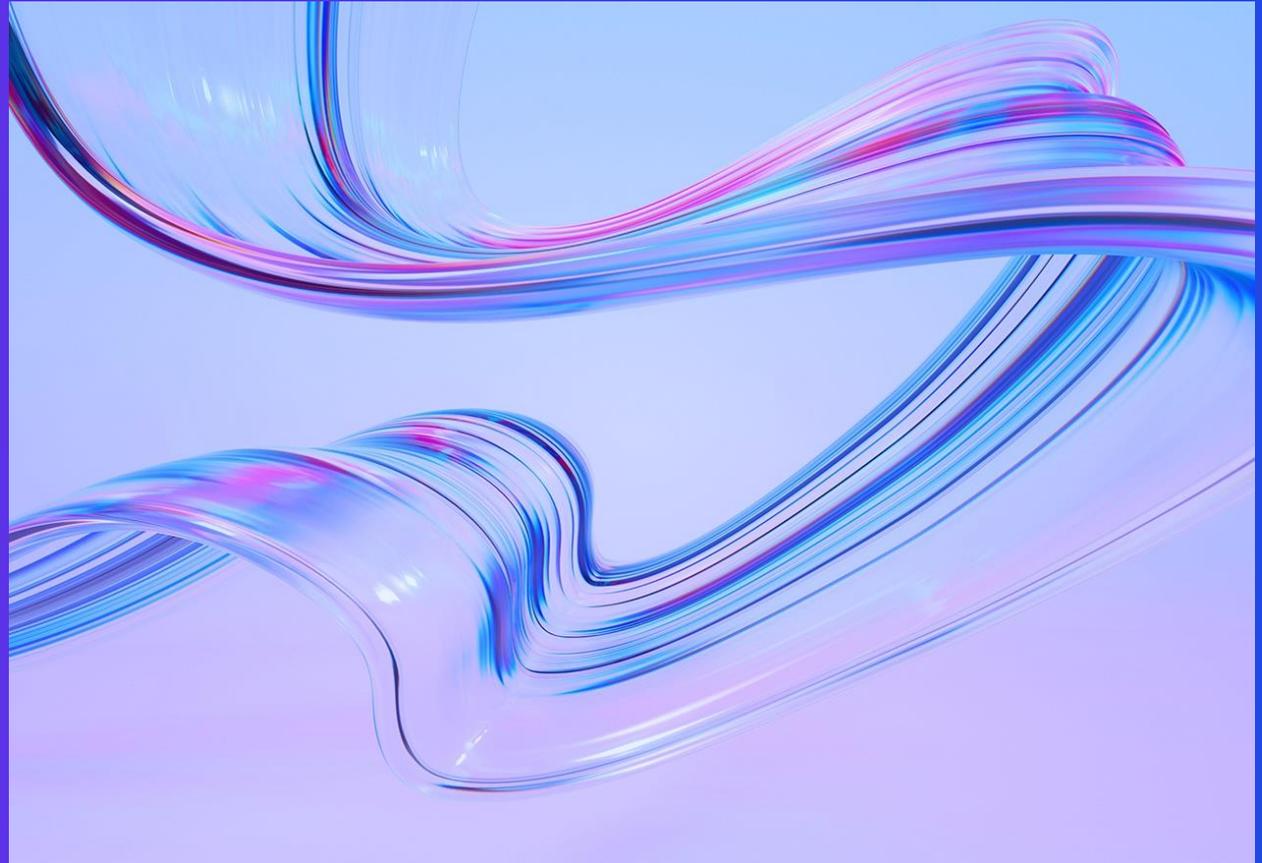




KPMG Consulting



KPMGコンサルティングが目指す世界観



Business Biotoping

経済性だけがゴールではないこの時代に、KPMGコンサルティングが目指す世界はどのようなものだろうか。

クライアントの利益はもちろん達成する。しかし、効率だけを追い求めると環境変化には弱くなり、長期的な生存性が犠牲になるかもしれない。

だからKPMGコンサルティングは広い視野で、利益と同時に、社会の繁栄と人々の幸せも実現する。長期的な目線で、未知なる可能性や機会を信じる。

そして目指すのは、個々への貢献が社会に開かれ、外部との交流で多様性が高まっていく、いわばビオトープのようなビジネスのあり方だ。

ビオトープは、自然と人との調和で生み出される。自然を意のままの管理下に置くのではなく、ありのままに放置するのではない。

それぞれの人が、自分なりの方法で手を入れる。その営みの末に、本来実現できなかったはずの生物多様性が生まれるのではないか。

そこでは、見たことのない草花や、聴いたことのない鳴き声に驚くこともあるだろう。しかし違和感を感じながらもその新しい存在を受け入れて交流する姿が、さらに多様な生物をビオトープに誘い、長期的な生存性を高めていく。

もちろんこれは、簡単なことではない。だからこそKPMGコンサルティングは、新しいビジネスや価値観のあり方を真っ直ぐに信じ、実現に向けて一步一步進んでいく



KPMGインターナショナル、KPMGジャパン

KPMGインターナショナル

KPMGインターナショナルの人員数

約**275,000**名

(2024年9月末現在)



KPMGメンバーファーム

142の国と地域

KPMGジャパン

KPMGジャパンの人員数

約**11,500**名

(2024年6月末現在)

KPMGジャパンを構成する3つの分野とファーム

Audit

あずさ監査法人

Tax

KPMG税理士法人
KPMG社会保険
労務士法人

Advisory

KPMGコンサルティング
KPMG FAS
KPMG
あずさサステナビリティ
KPMGヘルスケアジャパン
デジタルR&Dセンター
KPMGアドバイザリーライトハウス

デジタルテクノロジープラットフォーム
KPMG Ignition Tokyo

KPMGコンサルティングとは

KPMGコンサルティング

KPMGコンサルティングの人員数

2,116名

(2025年1月6日現在)

2014年4月に数十名の従業員でスタートし、
2025年現在、2,000名以上に拡大しています。
今後もさらなる組織の成長を目指しています。

KPMGコンサルティング設立から

10年 

KPMGコンサルティング設立年度 **2014年**

さまざまな業界のエキスパートが集まる事業部門と提供サービス

ソリューション部門

攻め

▶事業変革

ストラテジー&オペレーション
テクノロジー・トランスフォーメーション
フィナンシャル・マネジメント
組織・人材マネジメント

守り

▶リスク&コンプライアンス

ガバナンス／内部監査／内部統制
海外グループ管理
ITリスクマネジメント
サイバーセキュリティアドバイザー

イノベーション

▶ビジネスイノベーション

先進テクノロジー・イノベーション
フィンテック・イノベーション
ソーシャルバリュー・イノベーション
ニューバリュービジネス・クリエーション

Sector部門

インダストリーグループ



金融

銀行・証券・保険



製造・自動車・ 医療

製造・自動車・航空・
ライフサイエンス・医療



パブリック・ インフラストラクチャー・ エネルギー

電力・ガス・石油・エネルギー・
公共・官公庁・大学・独法



サービス・ 情報通信・商社

通信・ハイテク・メディア・
エレクトロニクス・インターネット・
小売り・流通・消費財・商社

プロジェクト事例紹介

01

エンタープライズソリューション

最新のグローバル・ソリューションを活用し、大手メーカーのサイロ化した業務システムを統合



[詳しくはこちら >](#)

03

金融セクター

オーナーシップをもってクライアントに徹底的に寄り添い、巨大組織の業務・システムの変革に向き合う



[詳しくはこちら >](#)

02

公共セクター×AI

類似性構造分析に関する調査研究に、公共セクターチーム×先端技術チームのシナジーで臨む



[詳しくはこちら >](#)

04

デジタルトランスフォーメーション

進化させた方法論『DXMO』を武器に、経営層から現場までクライアント全社を巻き込んだDX推進を実現



[詳しくはこちら >](#)

KPMGコンサルティングのありたい姿

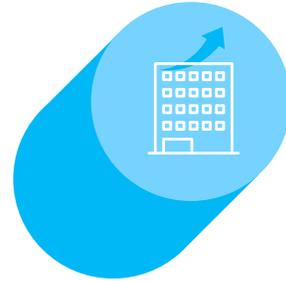
売上や人数規模追求ではなく、
クライアントの健全な発展に貢献すると共に、
ひとを大切にする

No.1 ファーム



KPMGコンサルティングが取り組む3本の柱

社会にインパクトを与える
KPMGコンサルティングへ



健全な企業成長

強化領域を定め、両利きの経営を加速



社会共生・社会繁栄への貢献

サステナビリティ経営の推進/
社会共生に向けた活動の加速



KPMGコンサルティングに携る人々の幸せの実現

業界No.1 EVP の実現

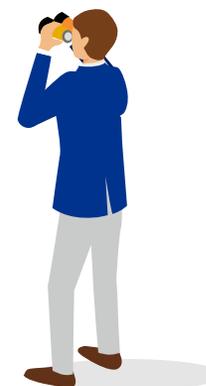
KPMGは、世界でも「魅力的な企業」として知られている

2024年 ユニバーサム社の
「世界で最も魅力的な企業ランキング」

第9位

※このランキングはGDP上位9カ国におけるビジネス、エンジニアリング、ITを専攻している大学・大学院の学生14万4,000人を対象に実施された理想の企業調査からの回答に基づいたものです

出典：2024 World's Most Attractive Employers Report | Universum | <https://universumglobal.com/rankings/wmae/>



KPMGインターナショナルと連携した最先端の研修制度

Transformation

普遍的かつアップデートすべき力

Innovation

新時代のイノベーション力

Everyone A Leader

戦略を実行する羅針盤としての行動指針

基盤となる力

コラボレーション力

高度な専門性

デジタル実装力

Global Insight

社会課題の発掘力

自律学習力



1

普遍的かつアップデートすべき力を磨くための独自の研修プログラム

2

視座・視点を一層高め、イノベーションの誘発につながる新たな学び

3

パーソナライズされたコンテンツで自律的かつ効率的に学ぶことを助ける研修プラットフォームと、一定以上の学習・スキルを証明するバッジの発行

海外研修制度

研修制度

海外短期研修プログラム



参加希望者は海外研修プログラムを企画し、経営層に研修の目的と期待効果をプレゼンテーション。合格者は会社の全面バックアップのもと、自らが企画した研修に参加

※次スライドにて詳細説明

海外オンサイトトレーニング



KPMGインターナショナル主催の研修への参加。自身の役割をグローバルかつ多角的な視点で学び、研修を通じて海外メンバーファームとの交流を深め、業務において協力し合えるネットワーク構築を図る

バーチャルクラスルーム



海外のKPMGの講師と各国の参加者をつないで開催。参加者は、出題されるクイズや質問を通して、講師とインタラクティブにコミュニケーションできる

赴任／派遣制度

Corridor



KPMGジャパンと海外のKPMGのケイパビリティを融合し、国の垣根を越えてクライアントを支援する取組み

Global Mobility



6か月程度の海外のKPMGとの人材交換制度や、2～3年の海外のKPMGへの派遣制度

Open Recruitment



海外プロジェクト、中長期的海外赴任、新たに立ち上がった組織への配属など、さまざまなキャリアオポチュニティに対して手を挙げられる制度

海外短期研修制度の実例



米国の銀行におけるRPAおよびCognitive/AI導入状況を調査

邦銀におけるDigital Transformationの潜在機会の探究を目的として、先行事例の多い米国へ訪問し、米銀でのDigital Labor導入状況の調査を実施。
米国におけるDigital Transformationの調査結果から、邦銀の今後の課題を検討しました。



インドにおける「ブロックチェーンテクノロジー」の利活用の現状調査

政府の「デジタル・インド」政策によって、ハイテク企業やハイテクを用いたサービスが盛り上がっているインドを訪問。KPMGインドや現地IT企業でのヒアリングを行い、今後の検討材料を持ち帰りました。また、ブロックチェーンテクノロジーにフォーカスしたカンファレンス「Blockchain Summit, Bangalore」に参加し、ブロックチェーン関連に従事している方々とのネットワークを築きました。



KPMG米国における女性活躍の実態調査

女性活躍先進国である米国のKPMGを訪問。人事制度や企業風土などの実態調査を通じ、Inclusion & Diversity推進活動へのヒントを得ることができました。
また、KPMGの女性リーダーをはじめとする米ファームの方々との交流を通じて女性が活躍するためのマインドを肌で感じることができました。

キャリア形成のためのサポート体制

トランスファー制度

会社全体で
異動希望を出せる制度



キャリアサポート

キャリア開発に関する
相談・解決のための支援



自己学習・研修の機会

- 年間40単位の受講義務
- 社内／メンバーファームの研修、勉強会、外部講座への参加 など

社員一人当たりの年間の
平均研修受講期間



68時間

KPMGのメンバーファームの
オンラインプログラム



2,575

年間で開催される
オンラインワークショップ



300以上

外部提供プログラム



10,000以上

キャリアパス



Business Analyst

- 入社後、上位職の指示のもと、調査・分析に取り組み、経験を積む

Senior Consultant / Consultant

- 担当テーマ・領域を持ち、クライアントの担当者と日常的にやり取りを行い、業務を推進

Senior Manager / Manager

- プロジェクトの現場責任者として、クライアントを含めたチームをリード
- 社長・役員クラスとの直接のやり取り
- 事業拡大をパートナーとともに実施

Partner / Associate Partner

- プロジェクトの総責任者
- 社長・役員とのリレーション構築
- ファーム運営・事業拡大の責任

Lead Specialist / Specialist

- 専門領域に特化して、顧客開拓、業態深耕、プロジェクト推進
- 深化すべきテーマや領域を識別しビジネス拡大に寄与

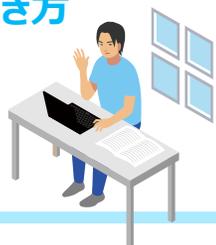
Principal

- 卓越した知見で戦略的重要性の高い案件を創出・遂行
- 会社のブランド力やプレゼンスの向上

※Strategy & Transformation Unitでは、戦略コンサルティング職種という独立した固有の職種体系を採用しています。詳細は採用HP> [キャリアパスページ](#)をご参照ください。

社員の“働く幸せ”のために支援していること

01 柔軟な働き方



02 ワークライフバランス

- JUMP Friday
- 有休取得奨励日
- 残業時間の削減



03 心身の健康ケア

- 身体 の健康維持サポート
- マインドフルネスの全社導入
- フェムテックサービス利用



04 社内業務の高度化・効率化

- ボトムアップ型の改善等推進
- 多角的なナレッジマネジメント
- 先進技術の社内業務への活用

05 感謝とリスペクトの文化醸成

- 感謝を送り合うThanks pointアプリ
- Thanks 関連イベント開催
- コーポレートアワード：全社イベント等にて表彰・賞賛等

06 社内コミュニケーション活性化



07 自律的で柔軟なキャリア形成の支援

- キャリアサポート面談
- オープンリクルートメント（社内公募採用）
- 再入社・アルムナイ
- サバティカル休暇
- キャリアデザイン研修
- オンボーディングサポート

08 ライフイベントに寄り沿ったサポート



*IDE : Inclusion, Diversity& Equity

仕事とライフイベントの両立支援

休業・休暇

- 育児休業
- 産前産後休業
- 配偶者出産休暇
- 子の看護休暇
- ライフプラン支援休暇：
ライフステージの変化に伴う休暇
- サバティカル休暇：自己実現・自己研鑽休暇



働き方

- フレキシブルワークプログラム：短時間勤務制度
- フレックスタイム勤務制度
- Away from Keyboard 制度：
柔軟に中抜けできる制度
- トランスファー制度：社内異動制度



育児サポート

- 保活コンシェルジュサービス
- 保育園費用補助制度
- ベビーシッター利用補助
- 病児保育サポート制度
- ワーキングペアレンツネットワーク



その他

- 社外の相談窓口
- Multi-Experience Program：兼業制度



✔ すべての社員に、これまでも、そしてこれからもKPMGコンサルティングのファンとして活躍してもらえよう導入された制度

IDEを推進し、多様なメンバーが活躍できる環境を整えています

IDE研修

さまざまな研修を通じて、マネジメント層を含めた社員のIDE理解を深めています。

For management

リーダー向けI&D研修

- マネジメント必修
- 自身のI&Dコミットメントを全社に対し発信

For women

キャリアデザイン研修

- 管理職前の女性職員必修

For all

アンコンシャスバイアス研修

- 全社対象の任意研修

I&D理解のための研修

- I&Dの理解を深めディスカッションする任意研修

ライフイベントを大切にしながら活躍できる環境の整備

育児や介護など、ライフイベントと仕事の両立を支援する制度や風土があります。

育児休業に関する実績値

男性育児休業
取得率

87%



男性育児休業
取得平均日数

85日



女性活躍推進

多様な人材が自分らしく活躍する職場づくりに向けて、多様性の1つである**女性の活躍推進**に力を入れています。「えるぼし」認定の3つ星も取得しています。

ジェンダーに関する実績値

女性社員比率

33%



女性管理職比率

19%



多様な人が自分らしく活躍できるKPMGコンサルティングのIDE。部署やクラスを超えて横断的につながり、安心して働くためのネットワーク等の取組みをしています

女性管理職のネットワーク

女性のキャリアアップの道の提示やロールモデルの発信

キャリアアップして活躍する先輩女性社員の姿に刺激を受けました！



子どもがいる職員のネットワーク

ギャザリングの開催や外部講師による勉強会・情報交換

ランチタイムにWPNに参加して、仕事と育児の両立について楽しく意見交換！



育児休業中に会社や職員とつながるネットワーク

両立支援制度等の情報共有やオンラインギャザリング開催

育休中も会社の情報が入ってきて安心。復帰もスムーズにできそう！



WOVEMENTS®

Working Parents Network (WPN)

育児休業中の社員のネットワーク

LGBTQ+ & Ally ネットワーク

外国籍社員を含めたクロスカルチャー

LGBTQ+の社会的課題について扱う映画上映会やギャザリング、外部講師による講演会

さまざまな国籍・ルーツをもつ社員とのオンライン交流やランチ会

※WOVEMENTS®は、KPMGコンサルティング株式会社の日本における登録商標です。

クラブ活動含む社内コミュニケーションも活発です

KPMGコンサルティング、およびKPMGジャパンでのコミュニティ活動も盛んで、縦・横・ななめのつながりがたくさん生まれます！

KPMGコンサルティングのクラブ活動

1	音楽同好会	8	野球部
2	ファンゴルフ部	9	サウナ・スパ部
3	宇宙倶楽部	10	エシカルフード部
4	テニス部	11	フットサル部
5	バスケットボール部	12	スカッシュ部
6	アニメ研究会	13	ダーツ部
7	自転車部	14	競技ゴルフ部

宇宙ビジネスなど、
クラブ機転でビジネス単会したのも！
新入社員による新クラブ立上げも



KPMGジャパンコミュニティ（一部抜粋）

- English Café（世界中のKPMG社員と英会話）
- Panda Club（中国関連イベントや中国語会話）
- KJ InterCom（異文化交流飲み会実施）
- Yokonori-bu（夏はサーフィン・冬はスノーボード）
- All-A-Board（カード・ボードゲーム）



その他の社内コミュニケーション施策

- 社長によるラジオ・ブログ
- パートナーランチセッション
- 各種交流
- Year-end Party
- 社長へ届くSuggestion box 等！



私たちが求める人物像

プロフェッショナルとして当事者意識を忘れず、立場の違いを超えて相手を尊重し、チームとして助け合いながら動いていく。そのような環境で得られる満足感、そして人として磨かれていくという充足感に価値を感じられる方を私たちは求めています。



プロフェッショナルとして、当事者意識をもって自己研鑽に励み、チームを常に代表しているという意識をもって、仕事ができる

私たちは多様な経験、アイデアを持った人たちからなるDiversityあふれる集団。相手の言葉に耳を傾け、理解し尊重する気持ちを持っている

部門間やKPMGジャパンのメンバーファームとのCollaborationを意識し、クライアントに最高の価値を提供できる

Thank You

KPMG Consulting





ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供できるよう努めておりますが、情報を受け取られた時点およびそれ以降における正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断ください。

© 2025 KPMG Consulting Co., Ltd., a company established under the Japan Companies Act and a member firm of the KPMG global organization of independent member firms affiliated with KPMG International Limited, a private English company limited by guarantee. All rights reserved.

The KPMG name and logo are trademarks used under license by the independent member firms of the KPMG global organization.

Document Classification: KPMG Public